

マリンネット



秋田海上保安部イメージキャラクター “あき助”

発行:秋田海上保安部

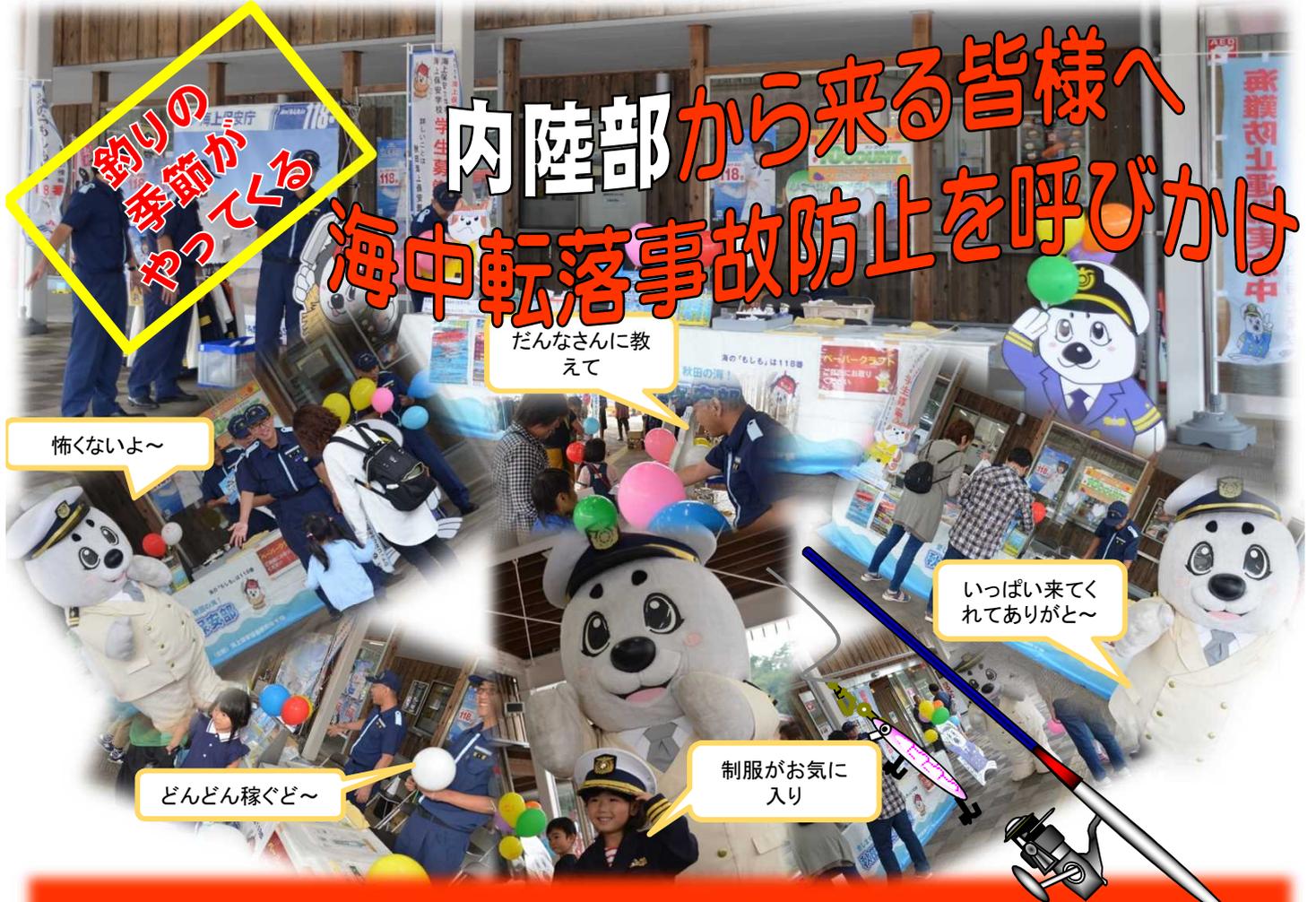
〒011-0945 秋田市土崎港西1-7-35

TEL 018-845-1621

FAX 018-846-0094

HP <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/akita/>

※本紙は海上保安協会秋田県支部のご協力により作成しています。



これから秋釣りの本格的シーズンがやってまいります。秋田では磯から投げ釣りでねらうブリ、そしてハタハタが有名ですが、チゴキ埼(能代市)のように海流と地形の影響で突発的に大波が発生する場所や、防波堤に満員電車のように人が押し寄せ、海中に転落し、死亡する事故も発生しており、このような事故は内陸部からの海に慣れていない釣り客に多い状況となっています。

このため、9月28日(土)道の駅ふたつ(能代市)において釣り事故防止キャンペーンを行いました。

救命胴衣の着用はもとより、正しい着用(浮いてズレ上がらないよう腰ベルト・股紐・ファスナーはしっかり止める)そして水没時の体温低下を防ぐよう厚手の保温下着やラッシュガード(商品名)を着用する。万が一落ちた場合に備えて、海から上がる場所を予め確認しておく、無い場合はロープ・縄ばしごなどを予め垂らしておくなど早く水から上がる工夫をしておきましょう。

秋田港合同安全推進活動



犯罪はゆるさんぜよ

なんと！
一日警察署長ですと！



9/28「道の駅セリオン」前岸壁において、秋田臨港警察署・交通安全協会等とともに合同安全推進活動をおこない、当日は当部齋藤官が一日警察署長を務め、岸壁のほか巡視船しんざんに乗船して海上から釣り人や観光客に対する交通安全・沿岸防犯・海上安全を呼びかけました。

あき助は見たのコーナー

港長窓口に来られた方にはお馴染みの菅野です。カンちゃんと呼ばれています。食べることは誰にも負けません。でも残念ながら10月に異動します。秋田のみなさん、今までアリガトー

某ステーキだったら！
初日でゴールド



海の事故発生件数

	秋田県	東北6県
2019年7月	4件	39件
2019年1月~7月	13件	203件

AIS (エーアイエス) ってなんですか？



ネットで“ais”を検索

遭難する～！

保安部ではこんな設備の点検・保守もしてるんだよ！

船舶自動識別装置 (Automatic Identification System) って知っていますか？ 総トン数500トン以上の船舶には搭載義務があり、船の名前・位置・速力・目的地などがわかるシステムで大きな船同士はこの情報を見てお互いに安全を図っているんだよ。秋田には男鹿の寒風山にこの受信局があって船舶の安全を見守っています。

<編集後記>

私たち海上保安官は、10月は出会いと別れの時期・・・度々マリネットでも紹介している「海上保安学校」からもフレッシュな新人海上保安官が秋田保安部に仲間入りしました！ 今後どんな活躍をみせてくれるのか・・・乞うご期待です！

手塚



海浜清掃活動に参加しました！

きれいな海を守っていきます！



9月29日、男鹿水族館GAO周辺で(公財)海上保安協会秋田県支部が主催する海浜清掃活動に秋田部長ほか職員がボランティアで参加し、今年も海岸に漂着したたくさんのゴミを回収しました。海浜清掃は、海上保安協会が長きに亘り取り組まれている活動であり、今後も協力して、海浜清掃活動を実施して参ります。

【参加企業】(※50音順)：秋印(株)、秋田海陸運送(株)、秋田石油備蓄(株)男鹿営業所、秋田造船鉄工(株)、五洋建設(株)東北支店、(株)沢木組、三和興業(株)、新日本海フェリー(株)秋田支店、日本製紙(株)秋田工場、(株)マリーナ秋田、若築建設(株)秋田営業所

「海をきれいに」という意識を小さな頃から持ってもらいたい…。当部ではそんな思いを胸に秋田市内の小学生のみなさんと海洋ゴミ調査をしたり、幼稚園のみなさんに海洋環境教室を行い、環境保全の大切さを伝えています。



飯島幼稚園



土崎小学校



北陽小学校

未

来

に

残

そ

う

青

い

海

【海のミニ知識】 波は耳で聞け！

上がる手段は準備しておけ！



急な大波にさらわれる・防波堤上に大勢集まりすぎた釣り人に押されるなどにより海中転落する事故が増えています。

大波は、明らかに波が来るときの“音”が違い、海に背を向けていても“来るっ！”て分かるものです。

磯では常に逃げる方向を確認しながら、違う波音を聞いたら“すぐに逃げる習慣を”身に着けましょう。

転落対策では救命胴衣のみならず、怖いのが“低体温症” 真夏の高水温時期以外では水温にかかわらず“約15分”で水から上がれるかが実例上、生死が分かれる境と言っても過言ではないと言えます。この低体温症については312号でも触れましたが、保温対策の服装として身近にあるものでは次のよう

- 下着は化学繊維を(ヒー○テッ○など有効) 綿・ダウンは水に濡れると保温性が低下
- 春は真冬と同等の服装を まだ水温が低く、このぐらいが望ましい
- 夏は風通しの良い長袖のシャツと長ズボン
- 秋は夏の服装に加えて遮風性の高い上着又はカッパ
- 冬はフリース又はウールの中着やズボンを着用し、頭部や頸部からの体温発散を防ぐウールの帽子やネックガードを着用、上着は防水・防風性能が高いゴム引きの厚手カッパやゴアテックスのパーカー(手首・足首が閉まるもの)

また、防波堤上などから落ちたら上がる箇所がありません。ロープや梯子などを予め垂らしておきましょう(他に人が居る場所ではクーラーBOXなどに掛けておき使用時には救助者に引っ張ってもらう)。

